



3-4 金剛土地区画整理事業<組合施行>

●地区の特徴

金剛地区は、九州自動車道八幡インターチェンジや北九州都市高速道路馬場山出入口に近く、交通利便性が高い地区です。「北九州市都市計画マスタープラン」及び「北九州市物流拠点構想」において、物流・生産拠点に位置付けられており、今後の発展が望まれています。

●地区の課題と土地区画整理事業の必要性

当該区域は、これまで宅地や農地として利用されてきましたが、近年は、宅地の遊休地化や農地の後継者不足が進むなどの課題があり、土地利用の見直しを迫られていました。

このような状況の中、広域交通ネットワークの発展やEコマース市場の急拡大による輸送需要の高まりを受け、北九州市は「北九州市産業集積実施計画」において、八幡インターチェンジ周辺を物流拠点に決めました。

これを受け、地権者の方々は土地区画整理組合を結成し、物流拠点整備を目的とした土地区画整理事業を進めています。

施行者:北九州市金剛土地区画整理組合
 施行面積:約 6.8ha
 施行期間:令和5年度~令和8年度
 全体事業費:1,100百万円
 減歩率:58.82%(公共 13.01%, 保留地 45.81%)

主な公共施設の整備

区画道路 W=4~13m、L=2,412m

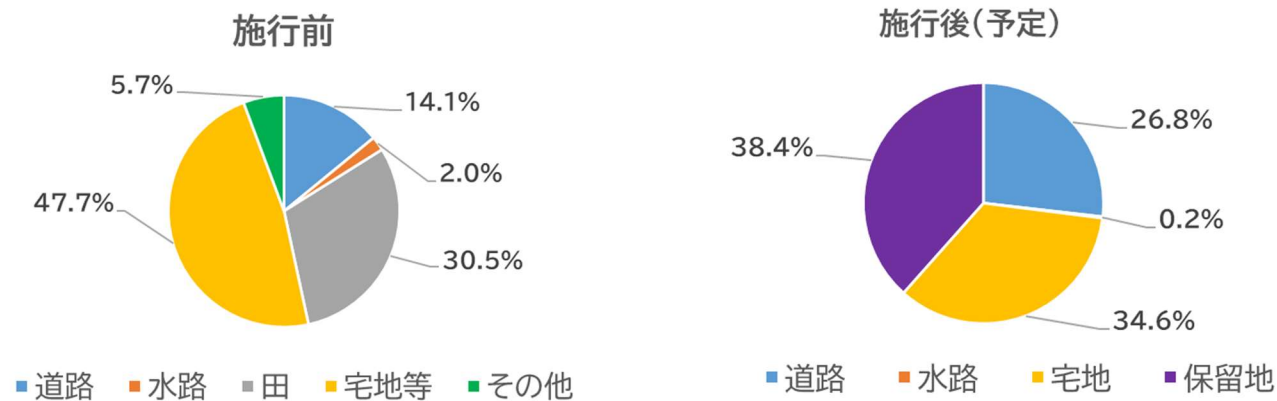
●これまでの経緯

令和3年 7月:金剛土地区画整理組合
 設立準備委員会の設立
 令和5年 3月:都市計画提案の申請
 令和5年 11月:組合設立認可申請
 令和6年 1月:都市計画審議会
 令和6年 3月:都市計画決定
 組合設立の認可

●今後の予定

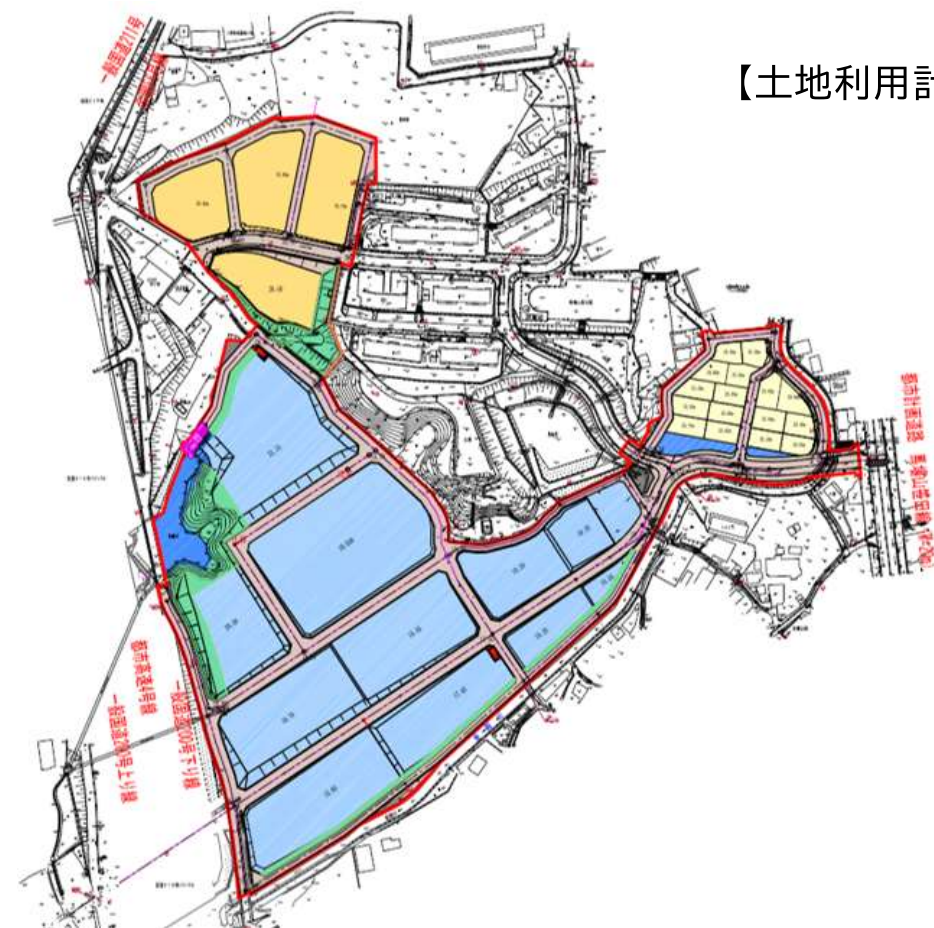
令和6年度:換地設計、工事等
 令和8年度:事業完了

●土地利用状況



2020年 北九州市撮影

凡例	
	施行区域



【土地利用計画図】

凡例	
種別	適用
施行区域界	
物流産業地区	
住宅地区	
生活・業務関連地区	
区画道路	
下水道用地	
防火水槽用地	
ため池	
森林区域・緩衝緑地	
空地	